

平成27年度 埼玉県校外教育協会委嘱

校外教育 研究紀要

研究主題

「志を高く持ち、人生を切り開く力を育成する」



上里町立上里北中学校

埼玉県児玉郡上里町大字金久保249

TEL 0495-33-7749

FAX 0495-33-7748



1 はじめに

上里町は、埼玉県の最北端に位置し、烏川、神流川の2大河川を境にして群馬県と隣接している。耕地面積が町の約4割を占め、小麦の生産がさかんで県内外に出荷されている。その他、梨、きゅうり、トマト、イチゴなど、様々な特産品がある。また、町の中心には上越新幹線とJR高崎線、関越自動車道が走り、平成27年12月には、上里サービスエリア内にスマートインターチェンジが開通するなど、都心へのアクセスの利便性も向上し、住みやすい町へと発展している。

本校は、在籍生徒数452名、14学級(特別支援学級2を含む)の中規模校(平成27年度)である。素直な生徒が多く、落ち着いた雰囲気です授業を受けることができる。「学び合い」を通して生徒の生きる力を育てることを研究課題とし、生徒どうしのつながりを大切に協同学習に重点を置き、学力向上につなげている。



2 研究の概要

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」のもと、本校の校外教育に関する活動は、さまざまな取り組みがある。その活動をもとに人生を切り開き、社会に貢献できる人材の育成を図ることは肝要であると考えている。研究の手立てとして、本校の校外教育に関わる教育活動を見直しし、いかに効果的に取り入れ、充実化を図るかを考え、実践してきた。また、効果の検証を、生徒の新聞作り、レポート作り、アンケート調査を通して実施した。

3 実践活動

平成27年度の実践活動

- ・5月・・・修学旅行(3年生)
- ・6月・・・校外学習(1年生)、林間学校(2年生)、保育所訪問(3年生)
- ・7月・・・卒業生と語る会(3年生)
- ・9月・・・清掃活動先進校視察(美化委員23名)
- ・11月・・・職場体験(1年生)、上級学校訪問(2年生)、保育所訪問(3年生)
- ・1月・・・反省と改善点の考察及び方策の決定

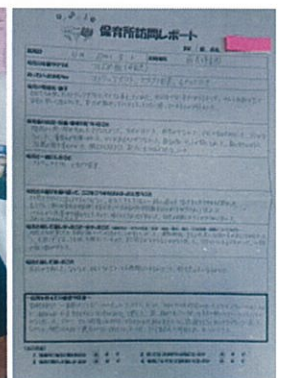
(1) 保育所訪問(3年生)

6月22日、26日、11月16日、20日に、3年生の各クラスが、学区内にある安盛保育園と萌美保育園にて保育実習を行った。

生徒は一生懸命に作ったオリジナルのおもちゃを使って、園児に温かく関わっていた。親となるための学習であるが、もっと行きたいと思った生徒が多かったようである。どのように関わりをもてば、園児たちが安全かつ安心して、また飽きずに楽しんでくれるか学んだことも多かった。生徒の園児に対する意識がとても高く感じ、継続的に行うことにより、効果が上がると感じた。



保育所訪問



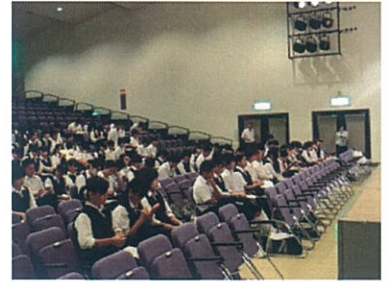
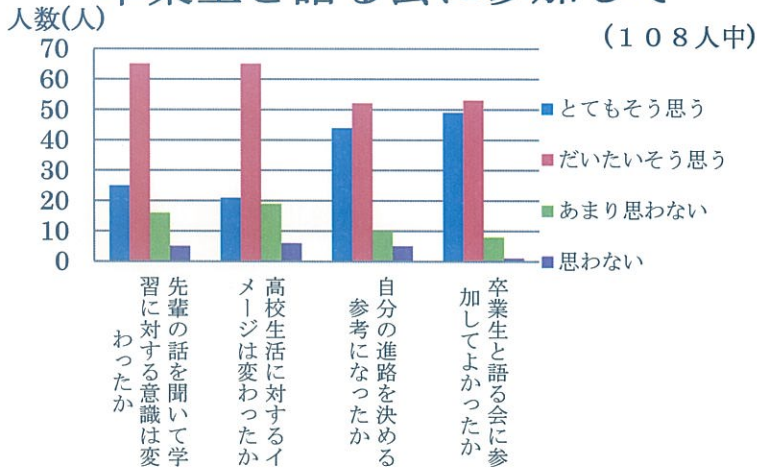
レポート

(2) 卒業生と語る会(3年生)

7月31日にワープ上里において、6名の卒業生(6校の高校3年生)を招待して、卒業生と語る会を実施した。

高校生活の様子や、受験体験記、勉強のアドバイスなど、それぞれの先輩方が熱心に語ってくれ、3年生はそのひと言ひと言にしっかりと耳を傾けていた。勉強方法や進路選択について、大変参考になったと感じた生徒が多かったようである。

卒業生と語る会に参加して



卒業生と語る会

(3) 清掃活動先進校視察(美化委員23名)

本校では清掃活動に力を入れており、「無言、ひざつき、気づき清掃」を行っている。9月10日に、職員4名、美化委員の生徒23名が長野県長野市立豊野中学校へ清掃視察訪問し、豊野中の清掃活動を見て学んできた。

生徒による訪問は昨年度からの取り組みであるが、見学後の効果は大きいように感じている。10月27日には、美化集会を開き、視察してきた内容を全校生徒に発表した。



豊野中の清掃



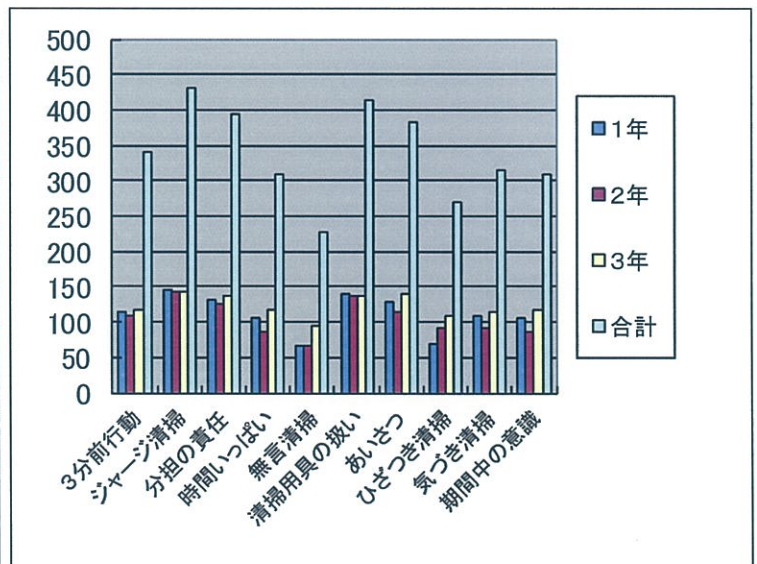
豊野中の生徒との意見交換



美化集会での発表

【アンケート結果】2学期12月実施(448人中)

	できた	1年	2年	3年	計
1	3分前行動	113	110	116	339
2	ジャージ清掃	145	143	143	431
3	分担の責任	132	126	136	394
4	時間いっぱい	105	87	116	308
5	無言清掃	65	65	96	226
6	清掃用具の扱い	140	137	136	413
7	あいさつ	129	113	140	382
8	ひざつき清掃	69	92	110	271
9	気づき清掃	110	91	114	315
10	期間中の意識	105	85	118	308



※期間中の意識とは、「清掃キャンペーン中の意識」のことである。

この結果を見ると、清掃への意識は全体的に高いと言える。特に、分担の責任を果たすこと、清掃用具の扱いや気づき清掃も「できた」と答えた生徒が多くなっている。また、無言清掃は、全体の半数の生徒ができたと答えている。今後も、生徒一人ひとりが自分の役割をしっかりと見つめ、無言で取り組める生徒がより一層増えることを期待している。

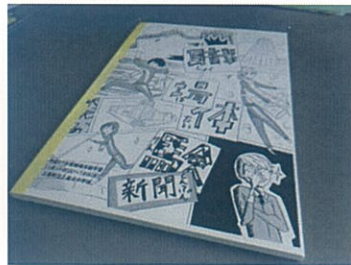
(4) 職場体験(1年生)

11月17日～19日の3日間、1年生が職場体験学習を実施した。地域の44の事業所に受け入れをしていただき、販売、医療福祉、教育、金融、飲食、農業、製造など、さまざまな分野の職種に分かれて体験を行うことができた。

3日間を通して、働くこと意義や尊さを身をもって体感し、自分の適性を発見できた生徒もいるようである。この経験が生徒自身の進路選択のヒントになることを期待している。



職場体験 ホームセンターにて

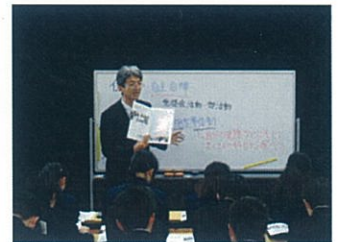


生徒の作った新聞



(5) 上級学校訪問(2年生)

11月16日に、上級学校訪問へ2年生の生徒が足を運んだ。多いところでは20名くらいで行った高校もあれば、1人で行ってきたところもあった。それぞれの興味関心、将来就きたい職業を思い描きながら、前向きな姿勢で参加した生徒が多かった。



【生徒の感想】

・上級学校訪問では、まだよく分からないことが分かりました。高校が大切にしている「伝統」と「躍進」がありました。「伝統」のお話を聞いたとき、生徒一人一人が学校のことを考え、行動し、学校をより良い方向に進めようという意識があることに感動しました。(Iさん)

・高校に行って、色々なお話を聞いたり、校内を見学したりしました。私は、高校の活動で、一人ひとりの個性を生かしていくのがすごいなと思いました。あと、それぞれの学科では、就職先も違っていき、基礎的なところが細かく学べて、工業系と農業系で資格を取ることができて、すごいなと思いました。高校のことが調べられてよかったです。(Sさん)

・たくさんの質問やお話をさせていただき、たくさんのことが学べました。たくさんの行事、学校生活があるので、毎日充実しているみたいです。部活の種類が多く、ビデオを見させていただいている間、色々な部活が楽しそうで、見ているだけでワクワクしました。授業中の様子を窓越しに見たら、ものすごく落ち着いた様子で、しっかり先生の話聞いていて、ものすごくよかったです。私は、今からでも勉強をがんばって、授業中真剣に受けていけるようにしたいです。(Kさん)

4 成果と課題

本校では、長い間、毎年、職場体験を実施してきた。それをもう一度見直し、職業体験も単なる体験ではなく、自己を振り返るように取り組んできた。その結果、職場体験においては、事業所のアンケート調査でよい評価を得ることができた。また、2年生の上級学校訪問においては、生徒の新聞でよい感想が得られた。3年生においては、卒業生と語る会に意欲的に参加し、質疑応答ではたくさんの質問が出て有意義なものとなった。保育所訪問も事前の準備や学習をもとに積極的な訪問ができ、保育所の方からもお褒めの言葉をいただくことができた。さらに、清掃活動では、「無言、ひざつき、気づき清掃」を数年来実施してきたが、先進校の清掃視察をすることで、視察した生徒がリーダーシップをとり、しっかりと意識をして清掃活動をすることができるようになってきている。

課題として、諸活動への取り組みには大変意欲が感じられる一方、そこから得られたものを学校生活の中で活かせる場面を具体的に設定するよう計画を見直す必要がある。また、今後のさらなる充実化を図るために、各教科の位置づけを検討し、活動時間を十分に確保していくことがあげられる。